

新しい薬学をめざして

Vol43 No.5
2014.6.1

発行 新薬学研究者技術者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8

E-mail shin-yakugaku@tea.ocn.ne.jp

(有)大阪ファルマプラン・あおぞら薬局 気付

郵便振替口座 01090-8-16463

TEL 06-6477-8080 (担当 稲垣) FAX 06-6477-8082

URL <http://pha.jp/shin-yakugaku/>



福島の間 (その11)

科学者・技術者の力を福島復興に

佐藤政男

69 回目を迎える「ふくしま復興支援フォーラム」

“ふくしま”は復旧にすら達していない状況だが、人びとは置かれた境遇の中で、復興をめざして懸命な努力を続けている。その一つとして、「ふくしま復興支援フォーラム」(以後、「フォーラム」と記す)を紹介したい。

「フォーラム」の開催をよびかけたのは福島大学の元学長、教授(現学長)、名誉教授2人、弁護士2人、および広島で長く原爆症を診療・研究した後、福島に戻り原発事故に遭遇した医師の7人である。2011年11月のよびかけ以来、2週間に1回という極めて早いペースで開催し、2014年6月の講演予定を含めて実に69回目となる。

よびかけ人の一人で、運営にあたっている今野順夫氏は、福島大学元学長で、現コープふくしま理事長である。出身の宮城県で親族5人の方が犠牲になり、そのうち3人が未だ行方不明という厳しい状況にある。それだけに宮城県における地震・津波による被害の深刻さと復興への課題を身をもって感じておられ、さらに原発事故が加わった福島県の被災や復興への特異で複雑な課題を広い視点から認識されている。

「ふくしま復興支援フォーラム」開催のよびかけ文

2011年11月17日に発表された「フォーラム」開催のよびかけ文には次のように記されている。

3月11日の東日本大震災によって引き起こされた東京電力福島第一原子力発電所の「過酷事故」はその後の福島の様相を一変させました。福島の人びとの健康と福島の大地を蝕み続けている放射能汚染の問題に対して、県民は絶えず事後的でしかも不確かな

目次

□福島の間 (その11)	□食品衛生監視員は
科学者・技術者の力を福島復興に 佐藤政男 …… 84	食の安全を守る縁の下の力持ち 佐々僚己 …… 102
□新薬学者集団 2014 年度総会報告 …… 90	□女性が動くとき (2)
□新薬学者集団 2013 年度活動のまとめ(確定) …… 92	学校におけるジェンダー教育は? 寺岡敦子 …… 104
□新薬学者集団 2014 シンポジウム報告 …… 95	□2013 年度第 11 回運営委員会報告 …… 109
□会員だより 2014 …… 96	□運営委員会からのお知らせ …… 109
□サプリメントの臨床的有用性を検証する その 5	
コエンザイムQ10の臨床的有用性 廣田憲威 …… 99	